

事実誤認



先日、亡くなった劇団四季の浅利慶太氏の訃報を伝えるネットの記事の中に、氏を「劇作家」と紹介しているものがあった。まずその分野の人間として訂正をしておく、浅利氏は「劇作家」ではなく「演出家」である。もう少し丁寧によえば「舞台演出家」である。こういう舞台関係の人間に関する記事がネットに出ると、時々、奇妙な事実誤認を見かける。前に見かけた記事の例を言うと、その記事は「演出家」と「舞台監督」を間違えて紹介していた。つまり、日本のジャズリズムにおける舞台関係の役職名は、かなり理解度が低いということになる。

そうは言っても、わたしがそんなことを鬼の首を取ったように訂正できるのも、わたしがその分野の人間だからであって、普通の庶民感覚からすれば区別がつきにくいものもよくわかる。例えば、警察官の役職名と階級などもわたしたち素人からするとややこしいことこの上ない。私服の警察官をわたしたちは「刑事」と呼びながらも、警察官に「刑事」という役職はない。「刑事」とは「刑事課の警察官」の俗称であって、正しくはその人は階級的には「巡査部長」であったり「警部」であったり「警視」であったりする。それらを正確に区別できるのは、警察関係者だけなのではないか。

それはともかく浅利さんが日本を代表する舞台演出家であることは間違いないだろう。そんな人を「劇作家」と紹介してしまうのは、NHK紅白歌合戦で、司会者が紹介する歌手の名前を間違えるような失態ではないか。同じ分野の人間としてこういう事実誤認はちょっと腹立たしい。

高橋いさを

〈劇団シヨーマ主宰 劇作・演出家〉